

地域密着型サービス 運営推進会議 『平成 28 年度第 6 回』 報告書

施設名：特定非営利活動法人こころのさと
グループホーム こころのさと

会議開催日時：平成 29 年 2 月 27 日（月） 13：30～14：30

開催場所：こころのさと本部 会議室

出席者：10名

利用者家族	1人	こころのさと理事	1人
地域住民代表	2人	職員	5人
地域包括支援センター職員	1人	総務部長 統括マネージャー 管理者 主任	

【議題】

1・近状報告

利用者状況

■グループホーム 1 階

利用者構成（男性 1 名 女性 7 名） 計 8 名

介護度別 要介護 1 3 名

要介護 2 0 名

要介護 3 3 名

要介護 4 1 名

要介護 5 1 名 平均年齢 86.8 歳 平均介護度 2・6

※3 月 1 日女性 1 名要介護 2、入居予定にて満床となります

※毎月テーマとなる歌を決めて 15 時のお茶の前に歌をうたったり、ラジオ体操や、楽器を使用した体操を行なっています。

2 月は『うさぎとかめ』の曲に合わせて肩たたきの体操を毎日行いました。

普段あまり声をださない方も昔から慣れ親しんだ歌は、大きな声で歌い

はつらつとされます。ラジオ体操も『昔よくやったんだ』と完璧に覚えている

方が多く『いちにさんし〜』の号令をかけながらはりきって体操されます。

寒い時期だからこそ体を動かして、心もからだもリフレッシュしています。

■グループホーム 2 階

利用者構成（男性 1 名 女性 8 名） 計 9 名

介護度別 要介護 1 1 名

要介護 2 1 名

要介護 3 1 名

要介護 4 5 名

要介護 5 1 名 平均年齢 88.3 歳 平均介護度 3.4

※看取り介護にて今年 1 月、ご家族に見守られ穏やかな最期を迎えられた男性方がいらっしゃいました。

ご夫婦で入居されていた奥様をお通夜にお連れし、ご主人とのお別れをサポートさせて頂きました。

ご家族より感謝のお言葉をいただき、日々の頑張りが認められたようで心が軽くなる瞬間でした。

これからも皆様に認められる事業所を作っていけるよう初心に返り精進していきたいと思います。

2・活動報告（各階共通）

■12 月クリスマス会を行ないサンタやトナカイになり歌やケーキを食べ楽しみました。

■1 月団子さし 七草粥を皆さんで協力して作成しました。

■2 月節分の豆まきでハッスルしました。

■2 月 14 日バレンタインデーではお菓子の詰め合わせを配りました。

■2 月 15 日こばと幼稚園年長組園児の慰問

歌やダンスを手拍子で応援し、手作りの飾り物をもらい園児と握手を交わしながら満面の笑顔で感激されていました。

■2 月 20 日地区の高齢者福祉相談員の皆様が来所されレクリエーションボランティアでかたりべや歌を楽しみました。

3・活動計画（各階共通）

■3 月 ひな祭り祝い 春彼岸（おはぎ作り）

■4 月 お花見

■3 月 6 日 苦情解決委員会

4・新年度ころのさと委員会活動について

※現在の委員会活動の他に『感染予防対策委員会』『非常災害委員会』を発足します。特に『非常災害委員会』については火災、地震、土砂水害等あらゆる

災害を想定した訓練を年間計画の基に実施し、職員の災害意識を高めていけるよう活動していきたいと思います。

5・意見交換

○避難訓練について

(地区代表者の方より)

- この地域はハザードマップ上では危険地域にはなっていないが、磐梯山が噴火したり遠くのダムが決壊しても何の影響もないとは限らない。どのように避難させたら良いのか悩むところもあるでしょうが万が一の時のための訓練は継続するのは大切でしょう。時には、皆で訓練のあり方を意見交換したりする機会もあっても良いかと思えます。

(地域包括支援センターの職員より)

- 当、法人での様々な災害を想定した訓練は継続しています。入所人数も多く大変ではあるが色々なシュミレーションはしています。備蓄品の消費期間がせまれば訓練の際に非常食を皆で食べてみたりもしています。

(職員より)

- 想定される災害により、どの場所にどのように避難することが安全かつ迅速なのかを職員間で話し合い、訓練のあとには振り返りを行ない課題を見つけ、次の訓練に活かされるような実りある災害対策を進めていきたいと考えています。